

第4回定例会

・一般質問②

第4回定例会

・一般質問①

一般質問

3名の議員が一般質問を行いました。
(紙面の都合上、質問と答弁は要約しています)



高橋紀久 議員

教育行政について

【質問】
学力向上のための様々な取り組みにより一定の成果が上がっていると思われませんが、これまでの取り組みの達成度合いについて、どのように評価しているのか伺います。

【答弁】(教育長)

町の子供たちの学力状況は、全国学力・学習状況調査の結果から改善の傾向が見られるものの、小学校では国語A以外、中学校では全教科が全国平均以下であり、基礎の定着や学習習慣の確立に課題があります。

26年度から学力向上推進委員会を設置し、学力調査の分析や改善策を検討し、小学校の児童向けには学習課程の手

学力向上のための取り組み
早稲までの評価は

教育長：改善傾向だが全国平均以下
推進委員会で改善策を検討

引き作成、配布を行っています。また中学校には28年度から単独で教員を配置しており、引き続き指導の充実を図っていく考えです。

また、小中学校の児童生徒が自己の学力向上に努められるよう、各種検定の資格取得に係る費用の助成も次年度考えています。

本年度は中学校の電子機器を更新し、ICT化を図り、その効果の検証を行っており、来年度以降は各小学校での配置を進め、学力向上に役立てたいと考えています。

【質問】

学力向上のために中学校に教師を町独自で採用とのことですが、用途は立っているのか伺います。

【答弁】(教育長)

現在30年度に向けて各方面に照会を行っており、年明けには人選できればと考えています。

【質問】

*「コミュニティスクールの導入が検討されていますが、今後の取り組みについて伺います。

【答弁】(教育長)

研修会や先進地の視察で得た情報を検討し、町としての対応策を協議することにも、教職員やPTA対象の研修会を開催したいと考えています。そして、30年度まで検討及び検証を行い、31年度に導入すること進めています。

【質問】
佐呂間高校の存続及び生徒数確保へのさらなる取り組みとして、今後どのような施策を考えているのか伺います。

【答弁】(教育長)

佐呂間高校は、様々な活動を通じて特色ある教育を推進し、町内外から高い評価を受け、町長は、道立高校だが地元において町の高校とも思っています。

高校生のクラブ活動には民間バス等を利用してありますが、次年度から借上げ費用についても一部助成を行い、保護者等の負担軽減を図ることも検討しています。

町ができる支援は今後も継続し、魅力ある学校づくりの協力、中学校との連携強化、さらには国際交流の推進などの施策を実現することにより、高校の教育環境を充実させ、中学校卒業生の多くが佐呂間高校へ進学できる体制を整えていきたいと思えます。

「コミュニティスクール」
保護者や地域住民で構成される学校運営協議会を設け、学校の運営方針や教育活動について意見を述べる取り組み。



三田真美 議員

通学路の安全確保について

【質問】

冬期間の通学路は、車道の除雪が最優先のため、歩道の除雪が通学時間に間に合わず、子供たちが車道を歩いていくことがあります。どのように安全を確保していくのか伺います。

【答弁】(町長)

また通学路の街灯も暗く、今後考慮すべきだと思いますが考えを伺います。

町の除雪路線は251本、250kmで、その他公共施設や福祉路線などを、町の除雪車両9台、民間借上げ車両8台、リース車両1台で、朝4時から除雪しています。

また通学路の街灯も暗く、今後考慮すべきだと思いますが考えを伺います。

【質問】

子供たちが主に歩く側に街灯がなく、反対側にある場合に、街灯の配置や照らす方向を変える考えはあるのか伺います。

【答弁】(町民課長)

街灯は、主に北電柱に設置

町の積もった通学路
子供たちの安全確保は

町長：歩道の除雪は原則として
優先的に行っている

ザーで優先的に除雪して

り、国道や道の歩道についても随時行っています。ただし、朝に主要道の除雪を優先するときは、歩道の除雪が遅れることもあります。

【質問】

スクールのゾーンには全て街灯を設置しており、一部道路状況や電柱などの関係から設置していない場所もあります。冬期間は日没までに全ての街灯が点灯しています。

【質問】

子供たちが主に歩く側に街灯がなく、反対側にある場合に、街灯の配置や照らす方向を変える考えはあるのか伺います。

【答弁】(町民課長)

街灯は、主に北電柱に設置

してはありますが、町道7線道路などは反対側のN.T.T柱に電線がないため、電線を這わせなければならず、今の状況になっていきます。

【質問】

車の運転者から歩行者を見たときに目立つよう、夜光反射材を児童に配る予定はあるのか伺います。

【答弁】(町民課長)

一般の方には広報等で、夜光反射材が必要な方は取りに来てくださいと周知していますが、要望があれば対応したいと考えています。

【答弁】(教育長)

来年度、児童生徒に配布していく考えです。

外国人研修生の地元
での交流について

【質問】

町の人口の約3%、150名程度の外国人研修生が来町していますが、その研修先を伺います。また受け入れ先は団体、個人と様々ですが、研修生同志の交流は行われているのか伺います。

【答弁】(町長)

技術取得を目的に来町されている研修生は120名程度で、今後も増えていくと予想されます。水産業では6事業所、約100名で、佐呂間水産加工組合に加入の3事業所と漁業組合が大部分を占め、あとは個人事業所が数名受け入れています。

事業所が研修生を町内や北見へ買い物に連れていったり、地域の盆踊りやカポチャ祭りを見せたりしています。

農業は法人が4戸、酪農家が4戸で3か国から20名程度受け入れており、事業所が違うため、異なる団体間の交流については難しいと考えています。水産業と同様、買い物や地元のお祭りに連れて

第4回定例会

・一般質問③

総務福祉・産業文教常任委員会の現地調査（11月30日・12月1日）の報告が第4回定例会において行われました。

議会ニュース

安心ハウス完成

委員会レポート



11月30日、定例会に向けた所管事務調査を終了後、現地調査を実施いたしました。今回の現地調査では、平成29年度の事業執行状況を主眼に、若佐歯科診療所、特別養護老人ホーム愛の園、老人福祉センターを調査し、高齢者福祉住宅 安心ハウスについては、産業文教常任委員と合同で調査を行いました。

新築された安心ハウスを視察

総務福祉 常任委員会

29年11月、30年1月

若佐歯科診療所は、平成22年に旧若佐診療所を改築、移転し診療しておりますが、従来から使用しているX線診断装置の老朽化により、今年度新たにパノラマX線診断装置が導入されました。この診断装置は、難易度の高い虫歯治療において、低被曝で3D立体映像が撮影でき

愛の園については、暖房設備が更新、施設に入った途端に暖かさが感じられ、高齢の入居者に住みよい居住環境になったと言えます。また、煙突断熱材にアスベストが含まれていたため、除去工事をしたところです。愛の園は昭和50年の建設以来、増改築を経て、終のすみかとして入居者が安心して過ごせるよう運営されておりますが、今後とも適切な維持管理を望むものであります。



安心ハウスの居室はバリアフリー

安心ハウスについては、郊外に住み、買い物や除雪作業など生活に支障をきたす独居老人が、低所得でも入居できる1棟6戸の集合住宅として建設されましたが、クリニックさるまに隣接し、更に老人福祉センターに近く、買い物等にも困らない場所であると思われま



但木早苗 議員

新年度から導入の国保事業の都道府県単位化による町民への影響について

町民1人当たりの保険料はどうか試算され、内容はいつごろ周知されるのか伺います。

【答弁】(町長)

税額試算は現在行っておりません。2月上旬に北海道からの30年度納付金の確定額を受け、5月下旬開催予定の国保運営協議会において税率改正案の承諾、6月第2回定例会で条例等改正案の提案を行うよう準備を進めています。

「国保事業の都道府県単位化」平成30年度から都道府県が国民健康保険の財政運営の責任主体となり、安定的・効率的な財政運営により、制度の安定化を目指す改革。

国民健康保険割増の改正 町民への影響は

町長：…保険税の上昇を 激変緩和措置により抑える

国が示している激変緩和措置の内容と、町民への影響について伺います。

【答弁】(町長)

1つ目は、納付金額を決定する際、一定の範囲内で激変を生じにくくする措置を用いること。2つ目は、都道府県繰入金認められています。3つ目は、激変緩和用として積み立てている特別基金を計画的に運用することです。これらの措置により納付金額が抑えられ、保険料も抑えられるものと考えています。

町独自の子育て世帯への軽減策について、考えはあるのか伺います。

介護保険事業について

改正介護保険法により、介護利用負担の引き上げなど内容見直しとなっておりますが、新年度から始まる第7期介護保険事業へも影響することと聞かれます。そこで、介護保険料の引き上げはあるのか伺います。

【答弁】(町長)

65歳以上の保険料上昇が懸念されていますが、社会保障

審議会でもデイサービスなどの報酬引き下げが議論されており、この動向によっては据え置くことも考えられます。

【質問】

介護給付の削減を目的とした在宅介護の推進について町としての考えを伺います。

【答弁】(町長)

医療連携や認知症対策により、住み慣れた地域で生活を送ることで、給付費の抑制にもつながると考えています。